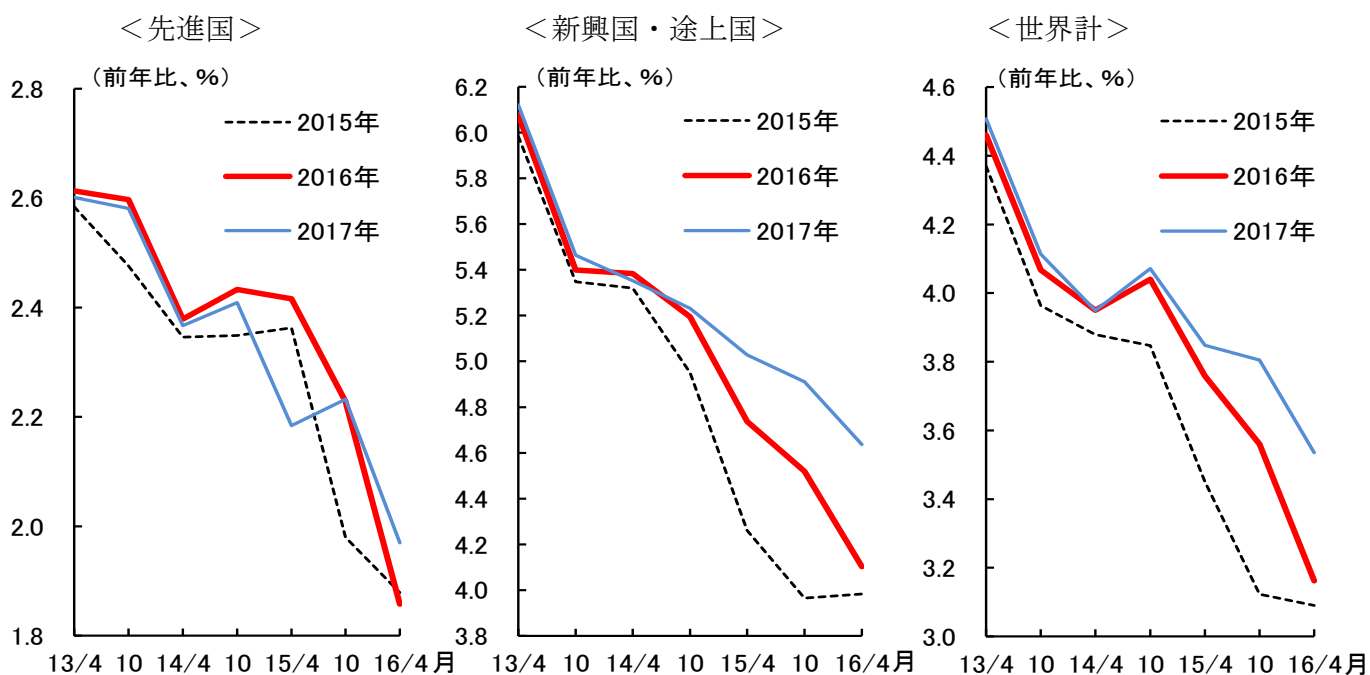
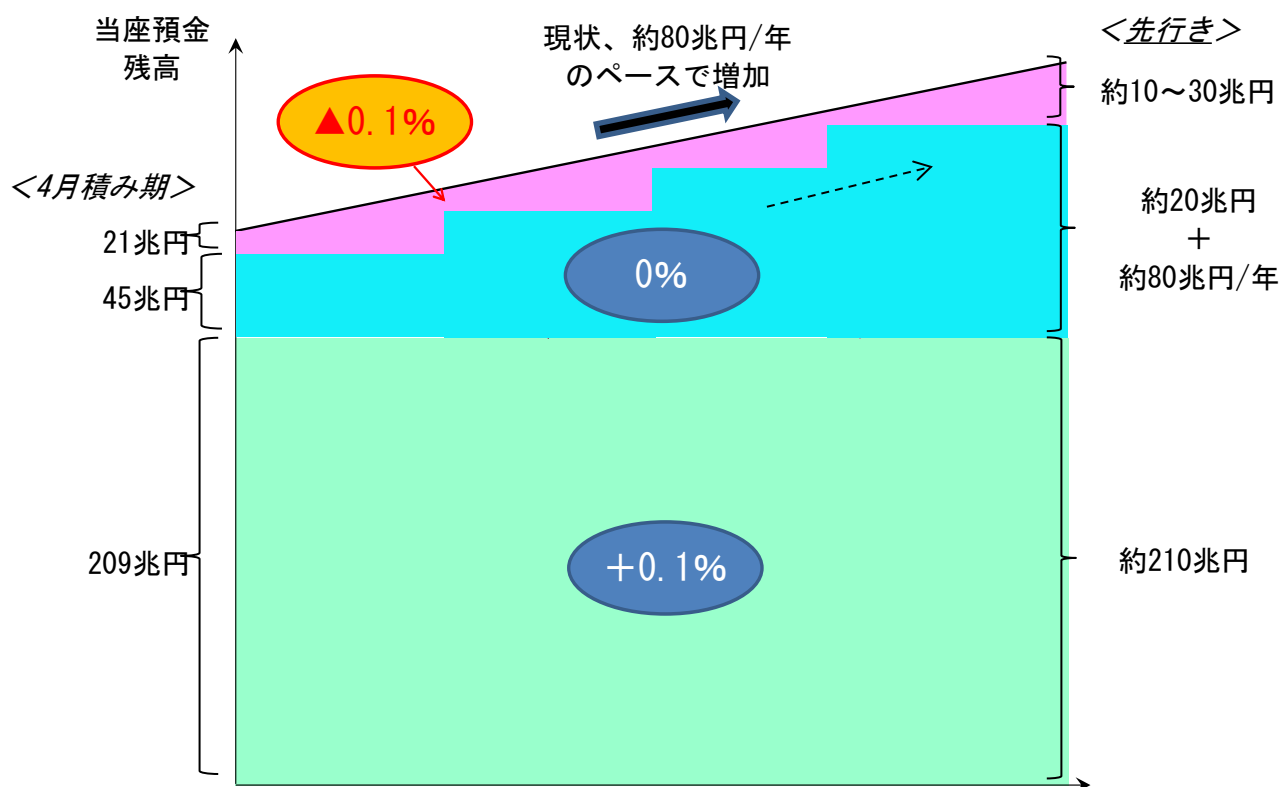


図表1 IMFの経済見通し

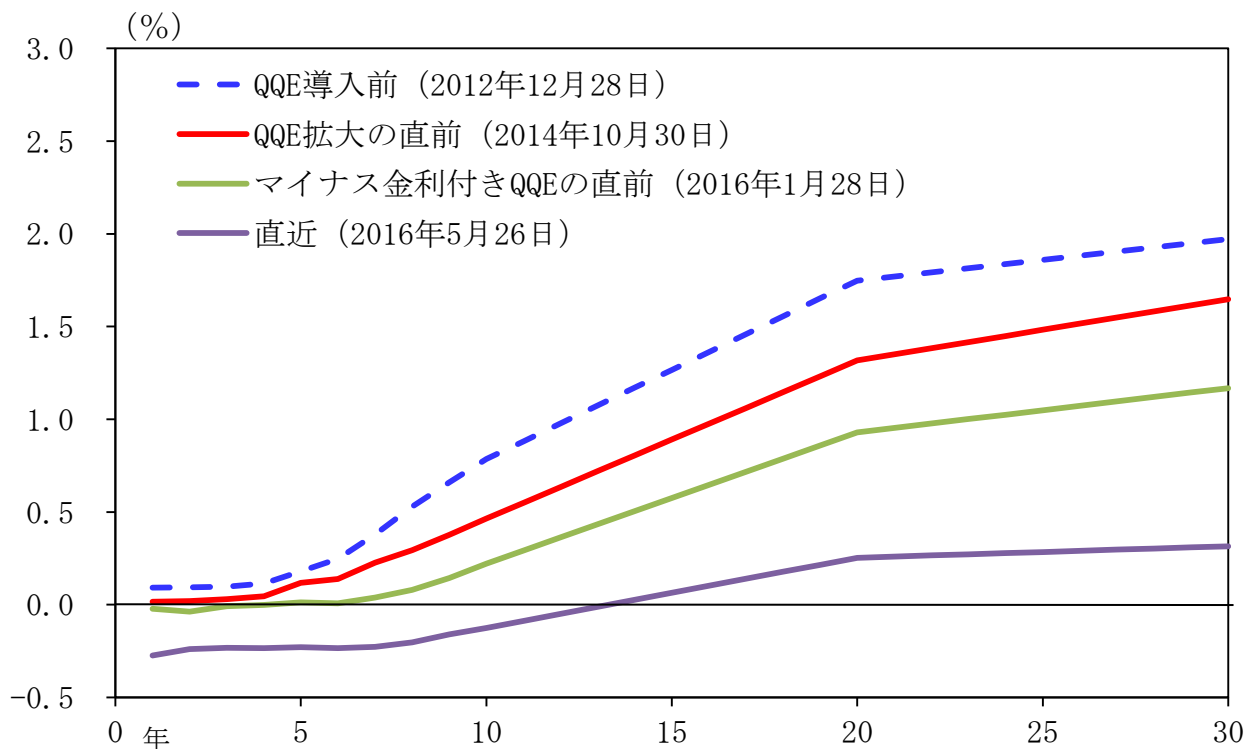


(出所)IMF「World Economic Outlook」

図表2 マイナス金利の仕組み：3段階の階層構造

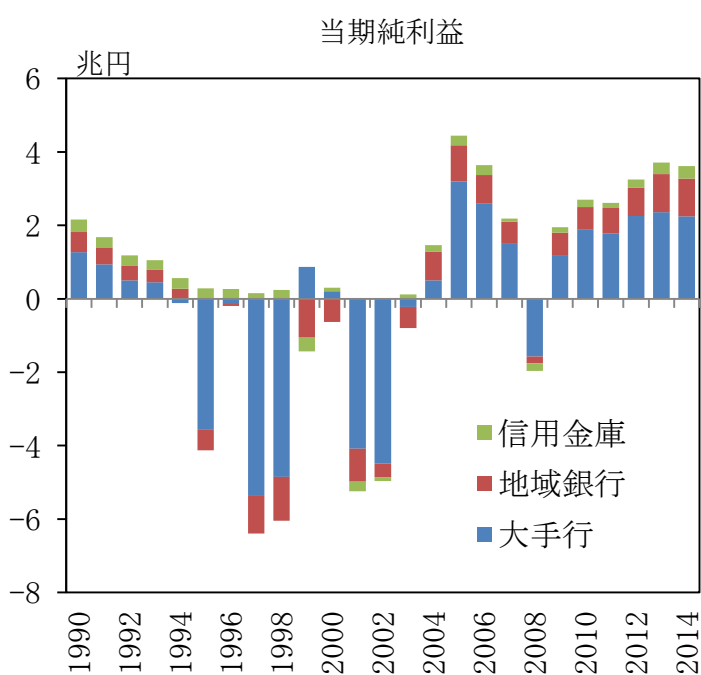


図表3 イールドカーブ

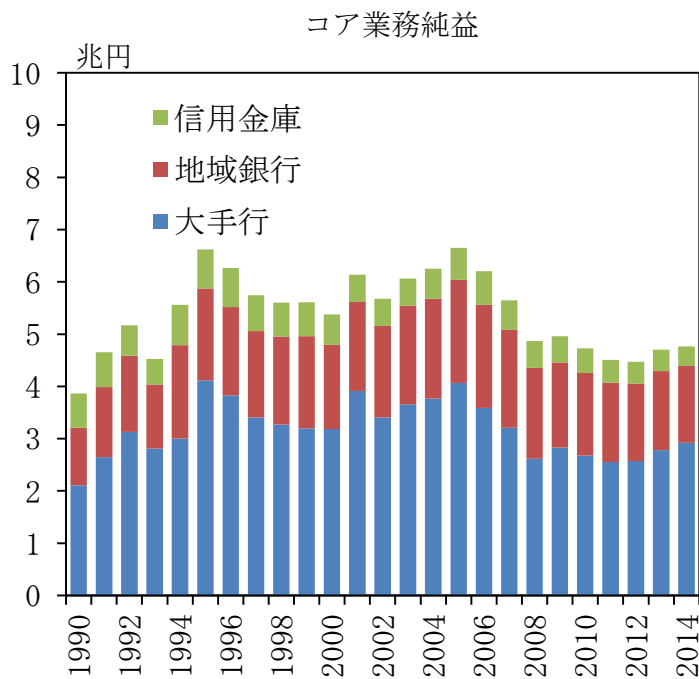


(出所) ブルームバーグ

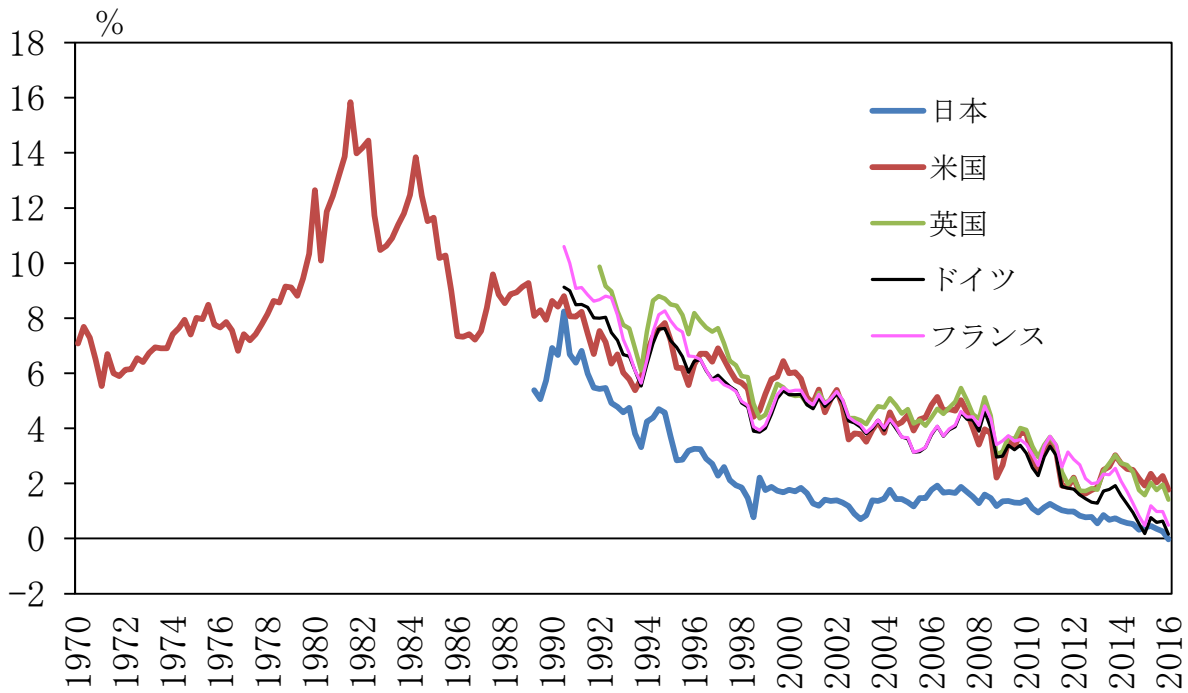
図表4 金融機関収益



(出所) 日本銀行

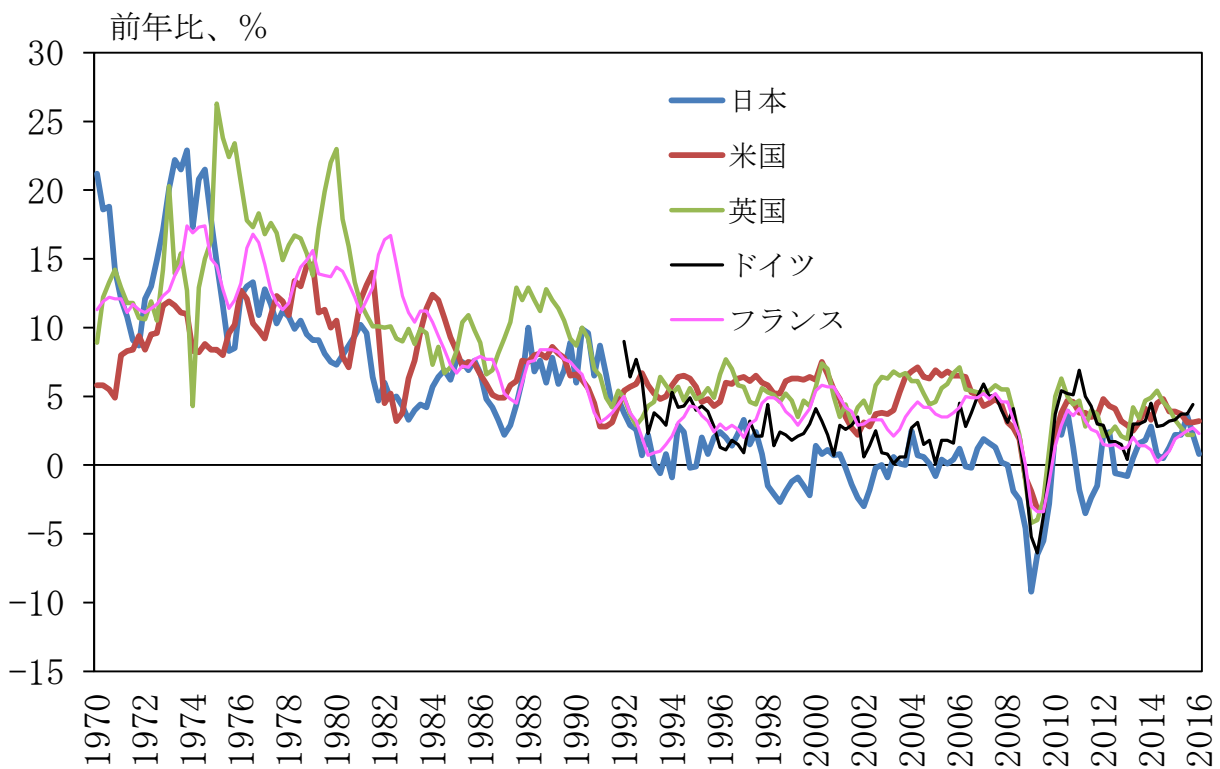


図表5 主要先進国の長期金利



(出所) ブルームバーグ

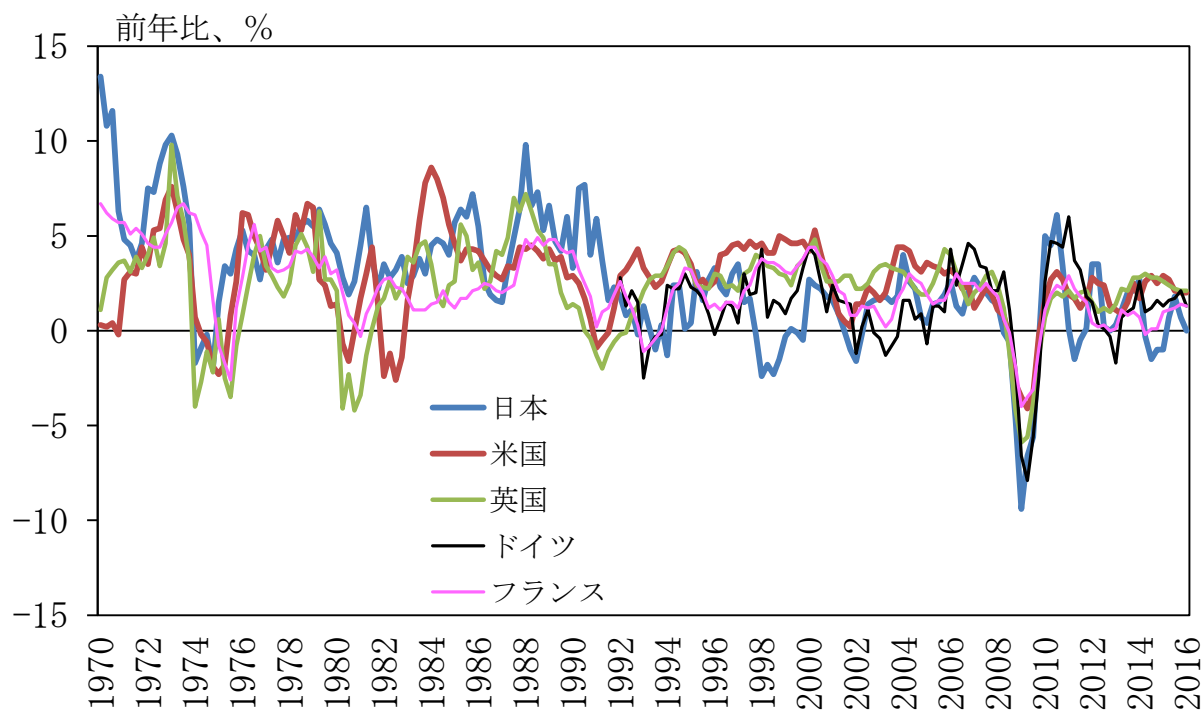
図表6 主要先進国の名目GDP成長率



(注) 日本のデータは、消費税の影響を除外した。

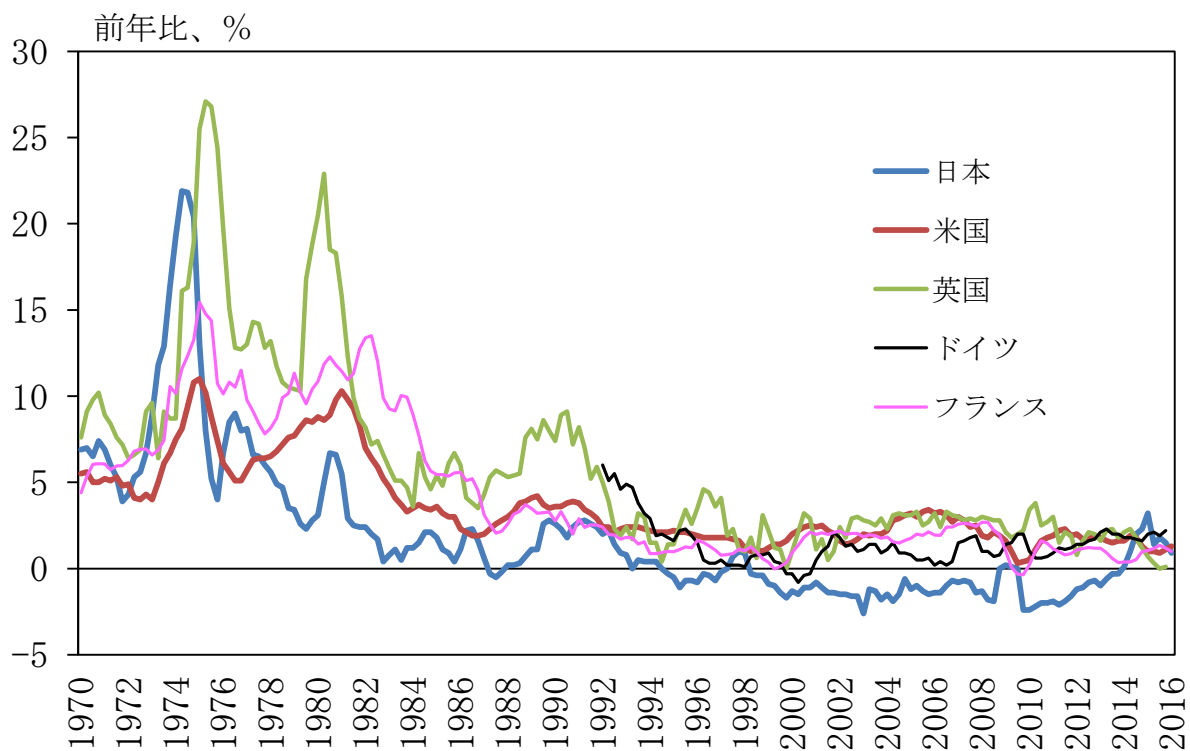
(出所) ブルームバーグ

図表7 主要先進国の実質GDP成長率



(出所) ブルームバーグ

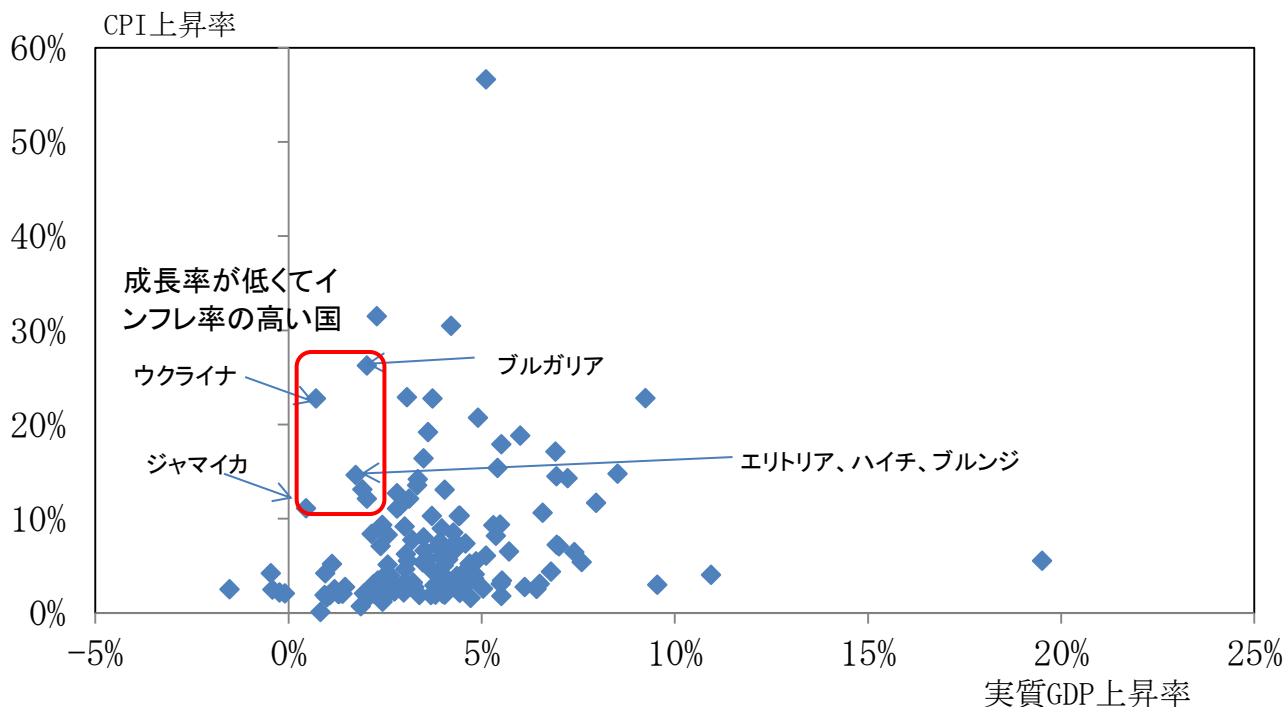
図表8 主要先進国のGDPデフレーター変化率



(注) 日本のデータは、消費税の影響を除外した。

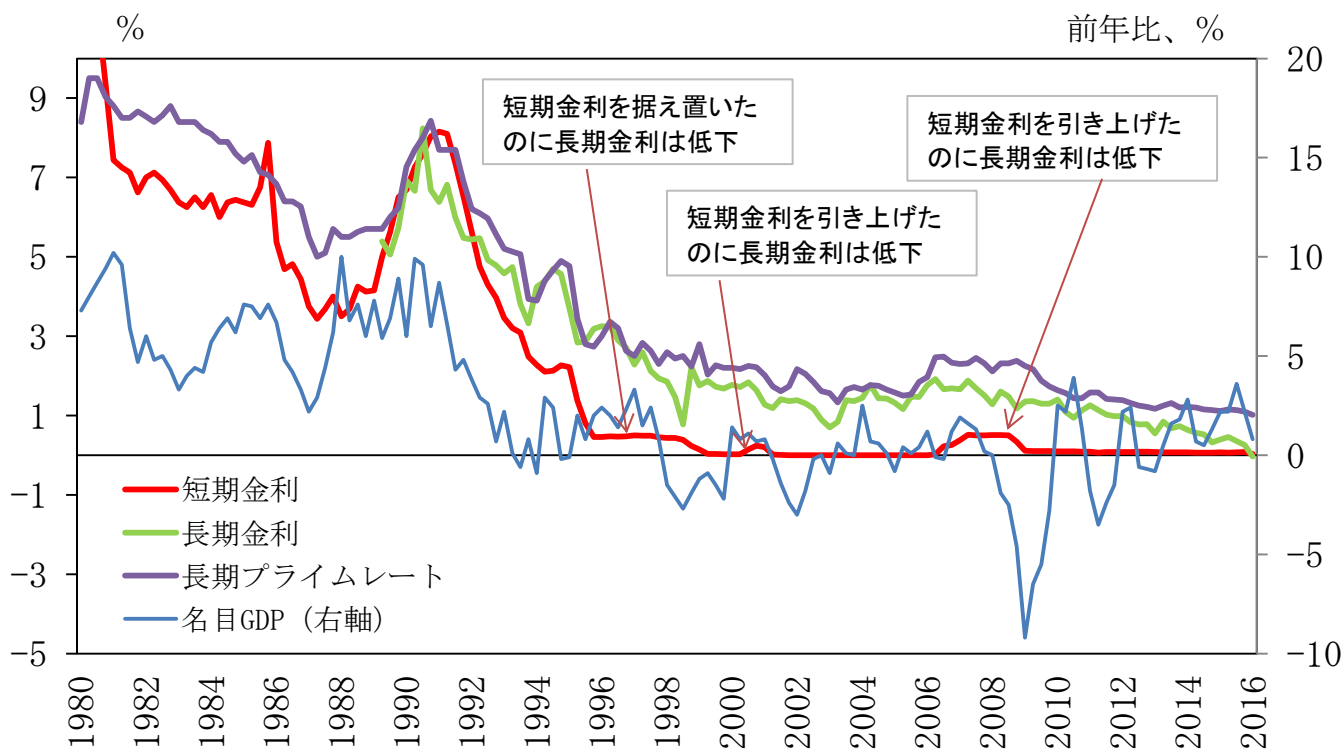
(出所) ブルームバーグ

図表 9 成長率とインフレ率



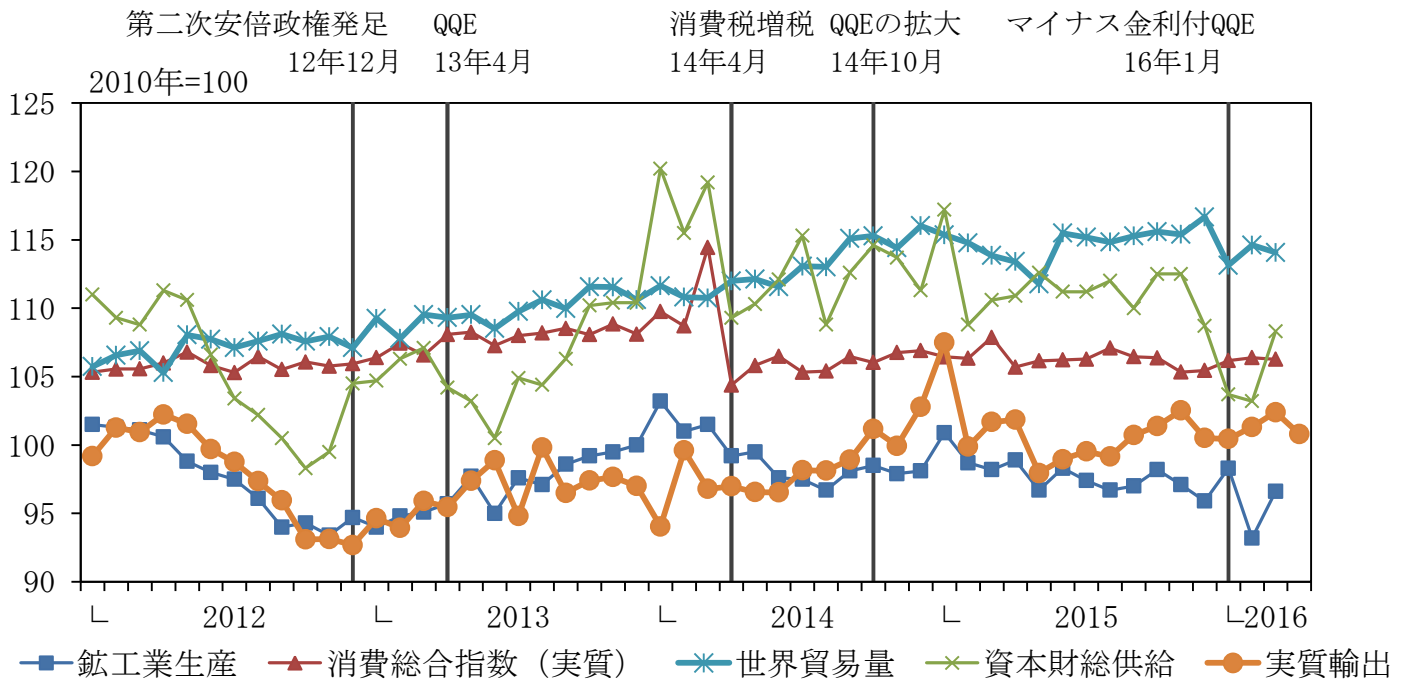
(注) 1994～2014年の平均値を使ってプロット。対象となる国は、実質GDP、CPI、Quasi Moneyについて20年間連続してデータが利用可能な国を選んだ。ユーロ圏については、ユーロ加盟後から2014年までの期間について算出。  
 (出所) IMF「World Economic Outlook database」

図表 10 日本の長短金利と名目GDP成長率



(注) 名目GDPは、消費税の影響を除外した。コールレートは、89年以前は有担。  
 (出所) ブルームバーグ

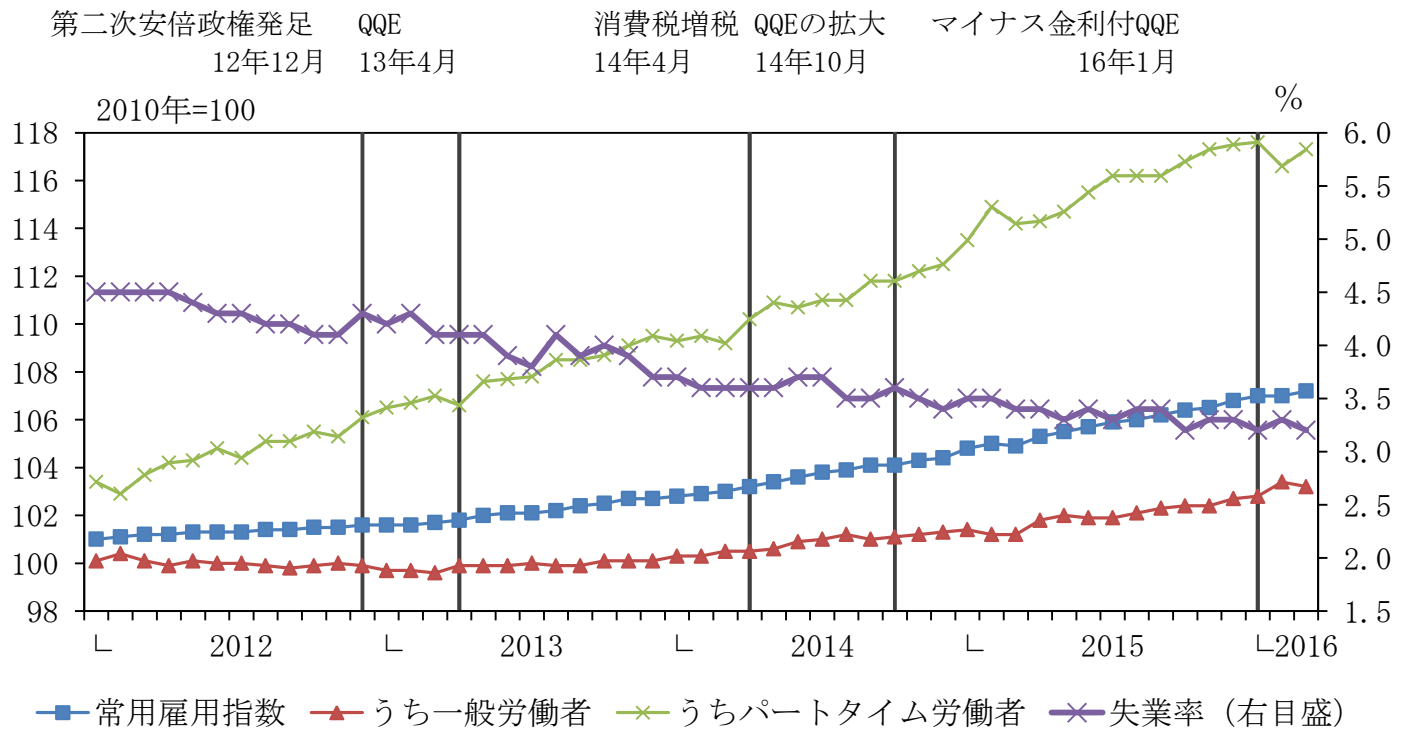
図表 1 1 生産、消費、投資の動き



(注) 季節調整値。

(出所) 経済産業省「鉱工業指数統計」「鉱工業総供給表」、内閣府「消費総合指数」  
 オランダ経済政策分析局「CPB World Trade Monitor」、日本銀行「実質輸出入」

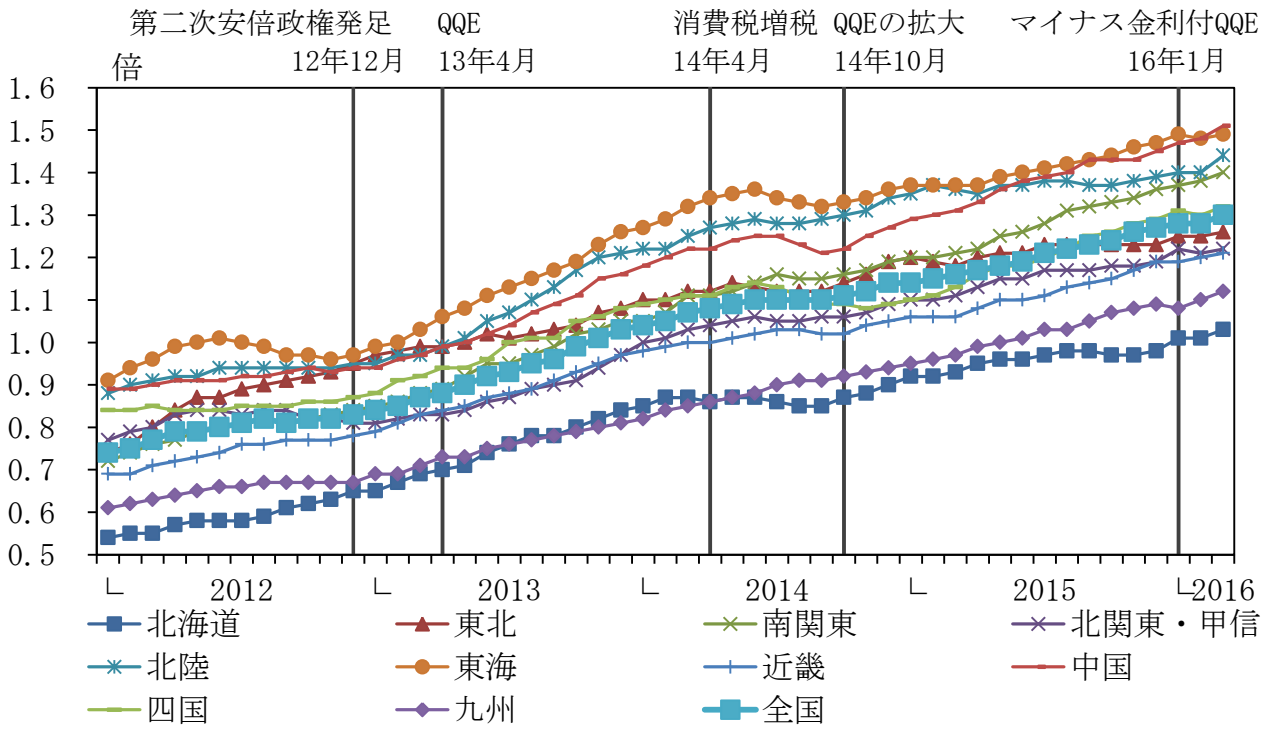
図表 1 2 雇用指数と失業率



(注) 季節調整値。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「労働力調査」

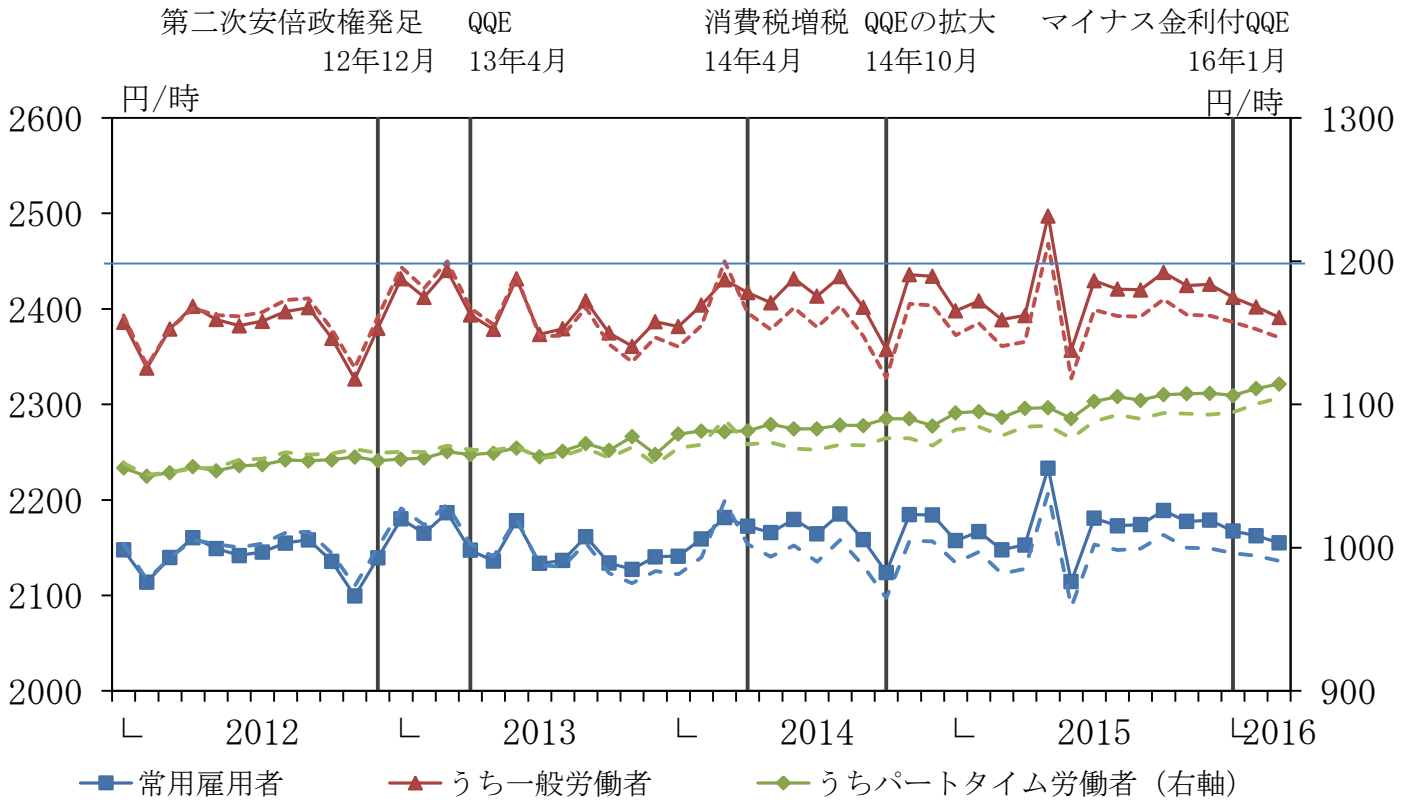
図表 1 3 地域別有効求人倍率



(注) 季節調整値。

(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

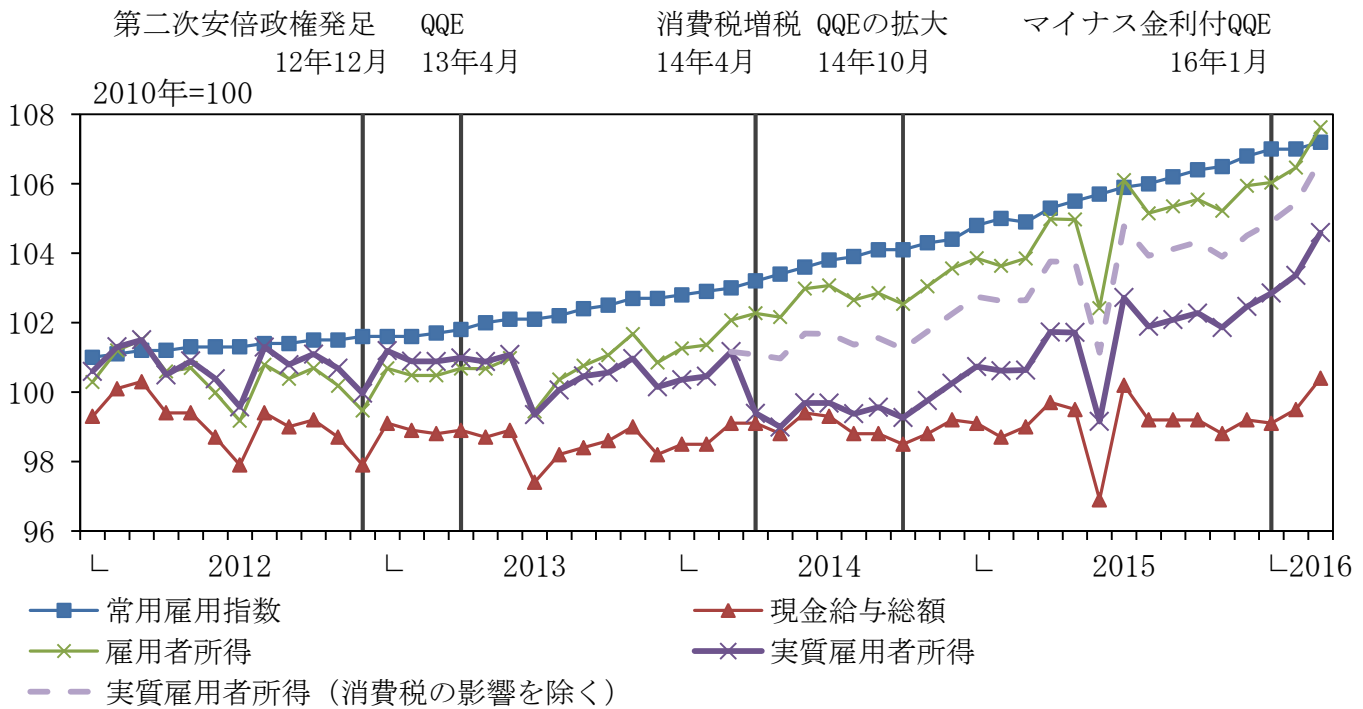
図表 1 4 時間名目賃金と実質賃金 (季調済)



(注) 時間あたり賃金=現金給与総額÷総実労働時間。X-11で季調。点線はそれぞれの実質ベース。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

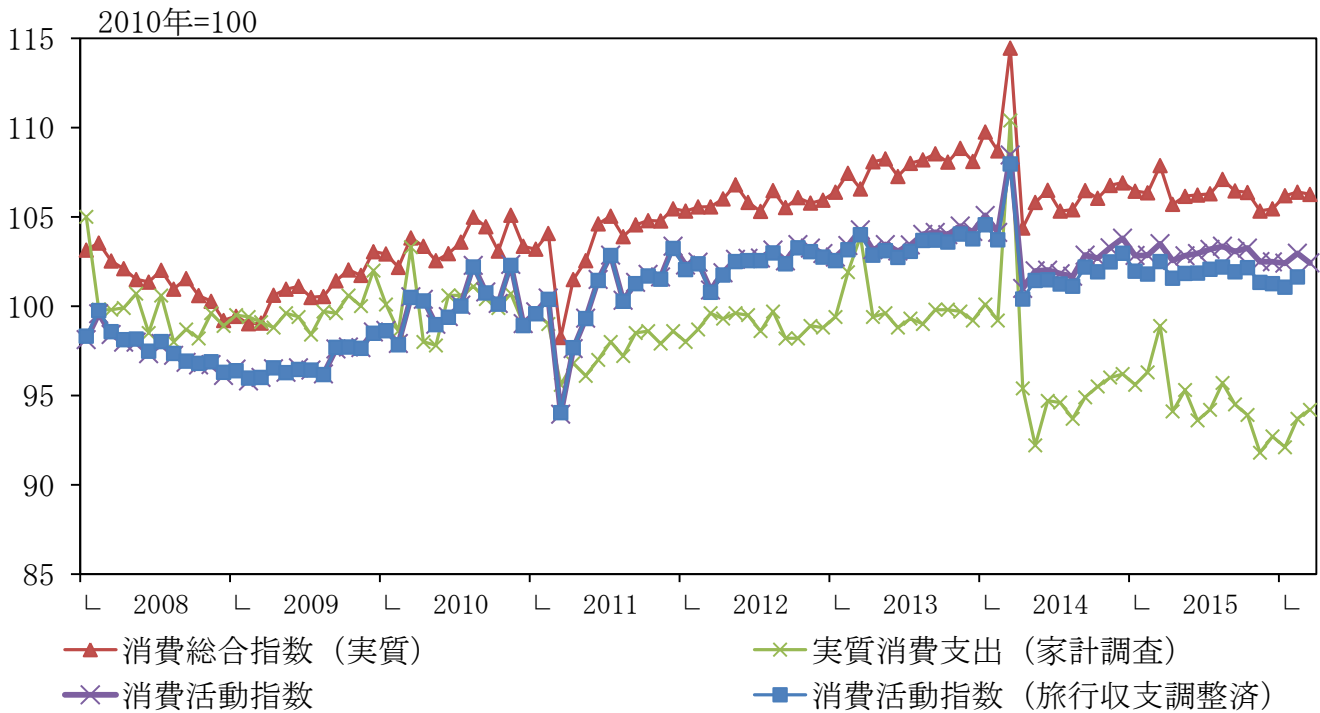
図表 1 5 賃金と雇用と所得



(注) 季節調整値。雇業者所得は常用雇用現金給与を乗じて算出。実質化は消費者物価指数 (総合除く生鮮) で除して算出。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「消費者物価指数」「家計調査」

図表 1 6 個人消費の指標

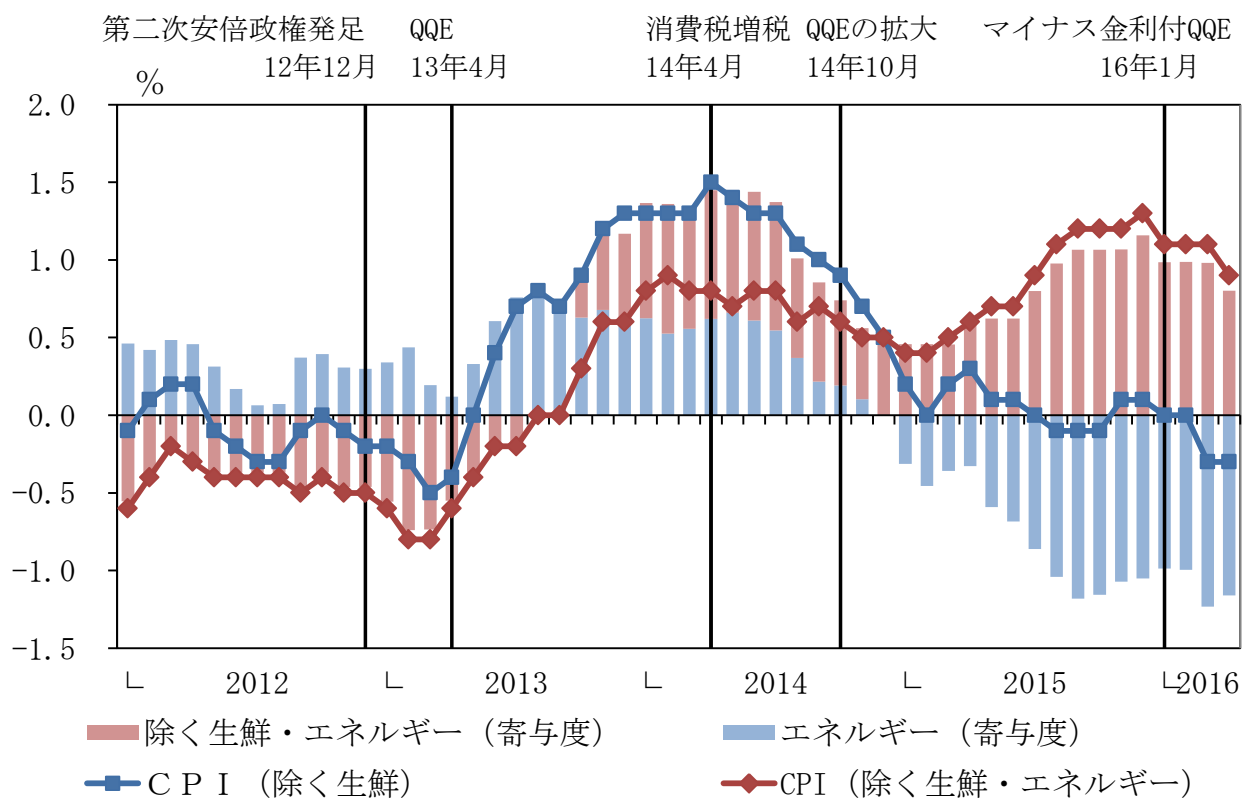


(注) 季節調整値。

(出所) 内閣府「消費総合指数」、総務省「家計調査」、日本銀行「消費活動指数」



図表17 CPI（除く生鮮）前年比の分解



(出所) 総務省「消費者物価指数」